

# 1-7 せせらぎ水路小水力発電普及推進事業

## 事業目的

農業用ダム・水路などの農業水利施設には、小規模水力発電の可能性がありながら、未利用の施設が数多くあると考えられています。

小水力発電は、純国産の再生可能なエネルギーで、CO<sub>2</sub>を発生しないクリーンなエネルギーですが、本県における農業用水を活用した小水力発電施設(1,000kw以下)の設置実績は3件のみとなっています。

現在、その普及推進が喫緊の課題となっていることから、低コストで最適な整備手法の早期確立と効果検証を目的に、モデル施設の整備に取り組みます。

## 事業内容

### 【平成29年度】

全体事業費 500千円 (うち みやぎ環境税充当 500千円)  
事業量 モデル施設整備地区の事業計画書作成, 小水力発電推進フォーラムの開催  
事業主体 宮城県  
内容 農業水利施設を活用した小水力発電施設の整備に向けてモデル地区を選定し, 事業計画書の作成を行うとともに, さらなる施設整備の普及を推進するためのフォーラムを開催します。  
その他 H24:概略設計(5,376千円), H25~26:施設整備(27,000千円), H27:効果検証(977千円), H28:管理設備工事(1,944千円)

## 事業効果

CO<sub>2</sub>年削減効果

—



小水力発電設置例(内川小水力発電所)

## 現状

既存の  
農業用水路に...  
(農村地域にある未利用  
エネルギーの活用)



## 導入後のイメージ

小水力発電設備を設置し,  
普及推進に向けた整備  
手法を確立します。

